

## 文法化と形態・統語的仕組み

### — 日本語と朝鮮語の相違を引き起こす根本的要因 —

塚本秀樹 (愛媛大学法文学部)

htsuka@LL.ehime-u.ac.jp

#### 1. 序論

(1) 本発表の目的

- (A) 諸言語現象に関する日本語と朝鮮語の間の類似点と相違点
- (B) 両言語間の相違は、何を意味し、またどのように捉えるべきか。

(2) お断り

言語現象 — 形態・構文・統語現象などを包括する広い概念として用いている。

#### 2. 複合格助詞 (塚本 1990a, 1991, 2006c)

(3) 日本語における形式

- (A) 単一連用格助詞+動詞連用形
- (B) 単一連用格助詞+動詞連用形+接続語尾「て」

(4) 日本語における種類

- (A) ~に {あたり/あたって}, ~にあって, ~において, ~に {応じ/応じて}, ~に後れて, ~に {限り/限って}, ~に {かけ/かけて}, ~に {関し/関して}, ~に {先立ち/先立って}, ~に {際し/際して}, ~に {従い/従って}, ~にして, ~に {沿い/沿って}, ~に {対し/対して}, ~に {つき/ついて}, ~に {つけ/つけて}, ~に {つれ/つれて}, ~に {伴い/伴って}, ~に {とり/とって}, ~に {のっとり/のっとって}, ~に {向かい/向かって}, ~に {基づき/基づいて}, ~に {より/よって}, ~に {わたり/わたって}
- (B) ~をにおいて, ~を {介し/介して}, ~をして, ~を {通じ/通じて}, ~を通して, ~をはじめ, ~を {踏まえ/踏まえて}, ~を {めぐり/めぐって}, ~をもって,
- (C) ~でもって
- (D) ~として, ~と違って

(5) 朝鮮語における形式

- (A) 単一連用格助詞+動詞連用形
- (B) 単一連用格助詞+動詞連用形の縮約形 )
- (C) 単一連用格助詞+動詞連用形 (の縮約形) + 接続語尾 「서<se>」

(6) 朝鮮語における種類

(A) ~에 {관[=關]하여/관[=關]해/관[=關]해서}

-ey {kwanhaye/kwanhay/kwanhayse}

(~に {関し/関して}; ~に {つき/ついて})

~에 {걸쳐/걸쳐서}

-ey {kelchye/kelchyese}

(~に {かけ/かけて}; ~に {わたり/わたって})

~에 {대[=對]하여/대[=對]해/대[=對]해서}

-ey {tayhaye/tayhay/tayhayse}

(~に {対し/対して}; ~に {つき/ついて})

~에 {따라/따라서}

-ey {ttala/ttalase}

(~に {従い/従って})

~에 {의[=依]하여/의[=依]해/의[=依]해서}

-ey {uyhaye/uyhay/uyhayse}

(~に {より/よって})

~에 있어서

-ey issese

(~にあって; ~において; ~に {あたり/あたって})

~에 {즈음하여/즈음해서}

-ey {cuumhaye/cuumhayse}

(~に {際し/際して}; ~に {あたり/あたって})

~에 {한[=限]하여/한[=限]해/한[=限]해서}

-ey {hanhaye/hanhay/hanhayse}

(~に {限り/限って})

(B) ~를/을 {비롯하여/비롯해/비롯해서}

-lul/ul {piloshaye/piloshay/piloshayse}

(~をはじめ)

~를/을 {위시[=爲始]하여/위시[=爲始]해/위시[=爲始]해서}

-lul/ul {wisihaye/wisihay/wisihayse}

(~をはじめ)

~를/을 {위[=爲]하여/위[=爲]해/위[=爲]해서}

-lul/ul {wihaye/wihay/wihayse}

(~のために 〈目的〉)

~를/을 {통[=通]하여/통[=通]해/통[=通]해서}

-lul/ul {thonghaye/thonghay/thonghayse}

(~を {通じ/通じて}; ~を通して)

(C) ~로/으로 {인[=因]하여/인[=因]해/인[=因]해서}

-lo/ulo {inhaye/inhay/inhayse}

(~に {より/よって} 〈原因〉)

~로/으로 말미암아

-lo/ulo malmiama

(~に {より/よって} 〈原因〉)

- (7) 미국이 이라크에 {대하여/대해/대해서} 선제 공격을 했다.  
Mikwuk-i ilakhu-ey {tayhayey/tayhay/tayhaysey} sencey kongkyek-ul hayssta.  
(アメリカがイラクに {対し/対して} 先制攻撃をした。)
- (8) 간부들은 인원 삭감 문제에 {관하여/관해/관해서} 협의했다.  
Kanputul-un inwen sakkam muncey-ey {kwanhayey/kwanhay/kwanhaysey} hyepuyhayssta.  
(幹部達は人員削減の問題について協議した。)
- (9) 회의 개최에 {즈음하여/\*즈음해/즈음해서} 한 마디 인사말을 했다.  
Hoyuy kaychoy-ey {cuumhayey/\*cuumhay/cuumhaysey} han mati insamal-ul hayssta.  
(会議の開催 に {あたり/あたって}; に {際し/際して} 一言挨拶をした。)
- (10) 인질은 많은 사람들의 힘에 {의하여/의해/의해서} 구출되었다.  
Incil-un manhun salamtul-uy him-ey {uyhayey/uyhay/uyhaysey} kwuchwultoyessta.  
(人質は多くの人達の力によって救出された。)
- (11) 그 사고는 운전수의 부주의로 {인하여/인해/인해서} 일어났다.  
Ku sako-nun wuncenswu-uy pucwuuy-lo {inhayey/inhay/inhaysey} ilenassta.  
(その事故は運転手の不注意によって起こった。)
- (12) 여기에는 매년 사월부터 오월에 {걸쳐/걸쳐서} 관광객이 많이 찾아온다.  
Yeki-ey-nun maynyen sawel-puthe owel-ey {kelchey/kelcheysey} kwankwangkayk-i manhi chacaonta.  
(ここには毎年, 4月から5月にかけて観光客がたくさん訪れる。)
- (13) 이 기계는 꼭 설명서의 지시에 {따라/따라서} 사용하십시오.  
I kikyey-nun kkok selmyengse-uy cisi-ey {ttalaye/ttalase} sayonghasipsio.  
(この機械は必ず説明書の指示に従って使用して下さい。)
- (14) 이 용지는 지도 교수님을 {통하여/통해/통해서} 제출해야 한다.  
I yongci-nun cito kyoswunim-ul {thonghayey/thonghay/thonghaysey} ceychwulhayya hanta.  
(この用紙は指導教授を通じて提出しなければならない。)
- (15) 이 쿠폰은 처음 온 사람에 {한하여/한해/한해서} 쓸 수 있습니다.  
I khwuphon-un cheum on salam-ey {hanhayey/hanhay/hanhaysey} ssul swu issupnita.  
(このクーポンは初めて来た人に {限り/限って} 使うことができます。)
- (16) 이 서점은 일본말이나 영어를 {비롯하여/?비롯해/비롯해서} 여러가지 언어로 쓰인 책을 팔고 있다.  
I secem-un ilponmal-ina yenge-lul {piloshayey/?piloshay/piloshaysey} yelekaci ene-lo ssuin chayk-ul phal-ko issta.  
(この書店は日本語や英語をはじめいろいろな言語で書かれた本を売っている。)
- (17) 이 파티를 {위하여/위해/위해서} 열심히 요리 연습을 했다.  
I phathi-lul {wihayey/wihay/wihaysey} yelqsimhi yoli yensup-ul hayssta.  
(このパーティーのために一生懸命に料理の練習をした。)

(18) 両言語間の相違点

		日本語	朝鮮語
(A)	数と種類	比較的多い	比較的少ない
(B)	語種	和語のものが多く	漢語のものが多く
(C)	接続語尾「て」／ 「서<se>」の付随	付けて表現することが多い	付けずに表現できることが多い
(D)	丁寧体の可能性	できるものが多く	できない
(E)	動詞連体形の可能性	できないものが多く	できるものが多く
(F)	証拠づける現象	日本語には存在しないが、朝鮮語には存在するものがある。	

(19) 「(18) の (A) (B)」を示すデータ

日本語 — (4)      朝鮮語 — (6)

(20) 朝鮮語で日本語に対応する複合格助詞がないもの

～に {あたり/あたって}, ～において, ～に {つき/ついて}, ～に {つれ/つれて}, ～に {とり/とって}, ～に {わたり/わたって}, ～を {めぐり/めぐって}, ～を {もち/もって}, ～でもって, ～として

3. 複合動詞 (塚本 1987, 1993, 2004, 近刊; 日本語については影山 1993 も参照のこと)

(21) 形式

- ・「動詞連用形+動詞」という構成
- ・両言語で見出される

日本語 — 泣き叫ぶ, 飲み歩く, たたき壊す, 押し上げる, 積み残す, 追い付く, 押し込む, 降り出す, 消えかかる, 読み返す, 食べ過ぎる, 助け合う, 書き直す, 買い損なう, 取り囲む, 振り向く, 取り組む,  
...

朝鮮語 — 돌아다니다<tolatanita> (歩き回る), 일어서다<ileseta> (立ち上がる), 뛰어들다<ttwietulta> (飛び込む, 駆け込む), 찔러죽이다<ccillecwukita> (刺し殺す), 받아들이다<patatulita> (受け入れる, 取り入れる), 갈아타다<kalathata> (乗り換える), 지켜보다<cikhyepota> (見守る, 見届ける), ...

(22) 構成する前項・後項の自立性から見た四つのタイプ (寺村 1984: 167-171)

- (A) V-V : 呼び入れる, 握りつぶす, 殴り殺す, ねじ伏せる, 出迎える, ...
- (B) V-v : 降り始める, 呼びかける, 思い切る, 泣き出す, ...
- (C) v-V : 差し出す, 振り向く, 打ち立てる, 引き返す, ...
- (D) v-v : 払い下げる, (話を) 切り上げる, (仲を) 取り持つ, (芸を) 仕込む, とりなす, ...

(23) 両言語間の相違点

日本語 — ・(22) (B) のように後項が自立性を失った複合動詞を比較的多く見出すことができる。

(例) ~出す, ~かける, ~かかる, ~込む, ~上がる, ~上げる, ~立てる, ~立つ, ~つける, ~つく, ~返す, ~返る, ~回す, ~過ぎる, ~合う, ~通す, ~抜く, ~切る, ~尽くす, ~直す, ~損なう, ~うる, …

(例) 子供はいきなり御飯を食べだした。

崖から落ちかけた。

火が消えかかった。

・よって, 複合動詞全体の種類と数は, 豊富

朝鮮語 — ・後項が自立性を失った複合動詞は, 非常に少ない。

・よって, 複合動詞全体の種類と数は, 限られる。

4. 「動詞連用形+テクル/動詞連用形+오다<ota> (来る)」構文と「動詞連用形+테이크/動詞連用形+가다<kata> (行く)」構文 (塚本 1990b, 2006a, 2006b)

(24) 動詞「行く/가다<kata> (行く)」の単独での使用

a. 友達が図書館に行った。

b. 친구가 도서관에 갔다.

Chinkwu-ka tosekwan-ey kassta.

(25) 動詞「来る/오다<ota> (来る)」の単独での使用

a. 子供達が公園に来た。

b. 아이들이 공원에 왔다.

Aitul-i kongwen-ey wassta.

(26) 「動詞連用形+テイク」構文の意味・用法

(A) 移動 (例) 兄が部屋から出ていった。

(B) 継起 (例) ここでちょっと休んでいきましょうか。

(C) 継続 (例) 大学進学希望者は今後一層, 増えていく見通しである。

(D) 消滅 (例) ろうそくの火が消えていく。

今年も多くの学生達が卒業していった。

最近, 社員が3人も辞めていった。

(27) 「動詞連用形+テクル」構文の意味・用法

(A) 移動 (例) 駅まで走ってきた。

(B) 継起 (例) 母が花を買ってきた。

(C) 継続 (例) 先生は20年間もこの問題について研究してきた。

(D) 出現 (例) 前に進むと, 海が見えてきた。

(E) 開始 (例) 近頃, 寒くなってきた。

急に雨が降ってきた。

● 「動詞連用形+テイク／動詞連用形+가다<kata> (行く)」構文の意味・用法

(A) 移動

- (28) a. 兄が部屋から出ていった。  
 b. 형이 방에서 나갔다.  
 Hyeng-i pang-eyse nakassta.

(B) 継起

- (29) a. ここでちょっと休んでいきましようか。  
 b. 여기에서 좀 쉬어 갈까요?  
 Yeki-eyse com swie kalkkayo?

(C) 継続

- (30) a. 大学進学希望者は今後一層, 増えていく見通しである。  
 b. 대학교 진학 희망자는 이후 더욱 늘어 갈 전망이다.  
 Tayhakkyo cinhak huymangca-nun ihwu tewuk nule kal cenmang-ita.

(D) 消滅

- (31) a. ろうそくの火が消えていく。  
 b. 촛불이 꺼져 간다.  
 Chospul-i kkecyeye kanta.
- (32) a. 今年も多くの学生達が卒業していった。  
 b. ? 올해도 많은 학생들이 졸업해 갔다.  
 ? Olhay-to manhun haksayngtul-i colephay kassta.  
 c. 올해도 많은 학생들이 졸업했다.  
 Olhay-to manhun haksayngtul-i colephayssta.
- (33) a. 最近, 社員が3人も辞めていった。  
 b. \* 요새 사원이 세 명이나 그만두어 갔다.  
 \* Yosay sawen-i sey myeng-ina kumantwue kassta.  
 c. 요새 사원이 세 명이나 그만두었다.  
 Yosay sawen-i sey myeng-ina kumantwuessta.

● 「動詞連用形+テクル／動詞連用形+오다<ota> (来る)」構文の意味・用法

(A) 移動

- (34) a. 駅まで歩いてきました。  
 b. 역까지 걸어왔습니다.  
 Yek-kkaci kelewasssupnita.

(B) 継起

- (35) a. 母が花を買ってきた。  
 b. 어머니가 꽃을 사 왔다.  
 Emeni-ka kkoch-ul sa wassta.

(C) 継続

- (36) a. 先生は 20 年間もこの問題について研究してきた。  
b. 선생님은 이십년 동안이나 이 문제에 대해 연구해 왔다.  
Sensayngnim-un isipnyen tongan-ina i muncey-ey tayhay yenkwuhay wassta.

(D) 出現

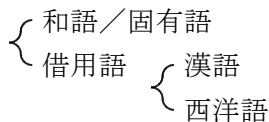
- (37) a. 前に進むと, 海が見えてきた。  
b. ? 앞으로 나아가자 바다가 보여 왔다.  
? Aph-ulo naaka-ca pata-ka poye wassta.  
c. 앞으로 나아가자 바다가 보였다.  
Aph-ulo naaka-ca pata-ka poyessta.

(E) 開始

- (38) a. 近頃, 寒くなってきた。  
b. \* 요새 추워져 왔다.  
\* Yosay chwuweceye wassta.  
c. 요새 추워졌다.  
Yosay chwuweceyessta.  
(39) a. 急に雨が降ってきた。  
b. \* 갑자기 비가 내려 왔다.  
\* Kapcaki pi-ka naylye wassta.  
c. 갑자기 비가 내리기 시작했다.  
Kapcaki pi-ka nayli-ki sicakhayssta.

5. 形容詞／形容動詞の位置づけに関連して (塚本 2009)

(40) 語種 — 両言語間で同様



(41) 日本語における漢語と西洋語 (外来語)

(A) 動詞か形容動詞 (まれに形容詞) として取り入れられる。

(B) 付加される語尾が品詞によって異なる。

・動詞の場合: 「する」

(例) 運動する, 読書する, 参加する, 回転する, …  
ドライブする, デートする, ジャンプする, …

・形容動詞の場合: 「だ」(言い切り), 「な」(連体形)

(例) 健康 {だ／な}, 親切 {だ／な}, 重要 {だ／な}, 豊富 {だ／な},

…

ハンサム {だ／な}, ロマンチック {だ／な}, プロフェッショナル  
ル {だ／な}, …

(42) 朝鮮語における漢語と西洋語（外来語）

(A) 動詞か形容詞として取り入れられる。

(B) 付加される語尾が品詞によって異なることはなく、同じものが用いられる。

・動詞の場合：「하다 <hata>」

(例) 운동하다<wuntong-hata> (運動する), 독서하다<tokse-hata> (読書する), 참가하다<chamka-hata> (参加する), 회전하다<hoycen-hata> (回転する), …

드라이브하다<tulaipu-hata> (ドライブする), 데이트하다<teyithu-hata> (デートする), 점프하다<cemphu-hata> (ジャンプする), …

・形容詞の場合：「하다 <hata>」

(例) 건강하다<kenkang-hata> (健康だ), 친절하다<chincel-hata> (親切だ), 중요하다<cwungyo-hata> (重要だ), 풍부하다<phungpu-hata> (豊富だ), …

헨섬하다 <haynsem-hata> (ハンサムだ), 로맨틱하다 <lomaynthik-hata> (ロマンチックだ), 프로페셔널하다 <phulopheysyenel-hata> (プロフェッショナルだ), …

(43) 古典日本語における形容動詞：「なり (言い切りの時) / なる (連体形の時)」

(例) 健康 {なり/なる}, 親切 {なり/なる}, 重要 {なり/なる}, 豊富 {なり/なる}, …

## 6. 「動詞連用形＋テイル／動詞語幹＋고 있다<ko issta> (～ている)；

動詞連用形＋있다<issta> (～ている)」構文 (安 (アン) 2000)

(44) a. 그걸 바라보고 가만히 있는다는 사실이 …

Kukel palapo-ko kamanhi issnuntanun sasil-i ---

b. \*それを見てじっといるという事実が…

(45) a. 양지 바른 둔덕에 눈이 녹아 있었다.

Yangci palun twuntek-ey nwun-i noka issessta.

b. \*日当たりのいい丘に雪が溶けていた。

## 7. 「動詞連用形＋テヤル；テクレル／

動詞連用形＋주다<cwuta> (～てやる；～てくれる)」構文 (韓 (ハン) 2005)

(46) 動詞「やる」の単独での使用

(例) 僕が子供にお菓子をやった。

(47) 動詞「くれる」の単独での使用

(例) 友達が僕に本をくれた。



- (48) 動詞「주다<cwuta>」の単独での使用  
 (例) a. 내가 아이에게 과자를 주었다.  
 Nay-ka ai-eykey kwaca-lul cwuessta.  
 (僕が子供にお菓子をやった。)  
 b. 친구가 나에게 책을 주었다.  
 Chinkwu-ka na-eykey chayk-ul cwuessta.  
 (友達が僕に本をくれた。)
- (49) 「動詞連用形+テヤル; テクレル/動詞連用形+주다<cwuta> (～てやる; ～てくれる)」構文  
 (例) a. 私が弟に英語を教えてやった。  
 b. 내가 동생에게 영어를 가르쳐 주었다.  
 Nay-ka tongsayng-eykey yenge-lul kaluchye cwuessta.  
 (例) c. 兄が私に英語を教えてくれた。  
 d. 오빠가 나에게 영어를 가르쳐 주었다.  
 Oppa-ka na-eykey yenge-lul kaluchye cwuessta.
- (50) 両言語間の相違 (次の例は韓 (ハン) 2005 のもので, その文法性の判断も韓 (ハン) による)  
 (例) a. (私に) かばん, 作ってくれた?  
 b.\* (나에게) 가방, 만들어 줬어?  
 \* (na-eykey) kapang, mantule cwesse?

## 8. 位置を表す名詞 (塚本 2001)

### 8. 1. 「上/위<wi>」

- (51) a. その学生はよく勉強をする上にスポーツもする。  
 b.\* 그 학생은 열심히 공부하는 위에 스포츠도 한다.  
 \* Ku haksayng-un yelqsimhi kongpuhanun wi-ey suphochu-to hanta.  
 c. 그 학생은 열심히 공부하는 데다가 스포츠도 한다.  
 Ku haksayng-un yelqsimhi kongpuhanun teytaka suphochu-to hanta.
- (52) a. 品物は必ず見た上で買います。  
 b.\* 상품은 반드시 보고 난 위에서 삽니다.  
 \* Sangphum-un pantusi po-ko nan wi-eyse saptita.  
 c. 상품은 반드시 보고 난 {뒤/후} 에 삽니다.  
 Sangphum-un pantusi po-ko nan {twi/hwu}-ey saptita.
- (53) a. 急に寒くなった。その上, 雨まで降り出した。  
 b. 갑자기 추워졌다. {?그 위에 / \*그 위,} 비까지 내리기 시작했다.  
 Kapcaki chwuweceyesta. {?Ku wi-ey / \*Ku wi,} pi-kkaci nayli-ki sicakhayssta.  
 c. 갑자기 추워졌다. 게다가 비까지 내리기 시작했다.  
 Kapcaki chwuweceyesta. Keytaka pi-kkaci nayli-ki sicakhayssta.

8. 2. 「内(うち)／안<an> ; 속<sok>」

- (54) a. 本を読んでいるうちに寝てしまった。  
 b. \*책을 읽고 있는 {안/속} 에 자 버렸다.  
     \* Chayk-ul ilk-ko issnun {an/sok}-ey ca pelyessta.  
 c. 책을 읽고 있는 동안에 자 버렸다.  
     Chayk-ul ilk-ko issnun tongan-ey ca pelyessta.
- (55) a. 冷めないうちにお召し上がり下さい。  
 b. \*식지 않는 {안/속} 에 드세요.  
     \* Sik-ci anhnun {an/sok}-ey tuseyyo.  
 c. 식기 전에 드세요.  
     Sik-ki cen-ey tuseyyo.
- (56) a. そのうち何か連絡があるでしょう。  
 b. {?그 안에 / \*그 속에 / \*그 안, / \*그 속,} 무슨 연락이 있겠지요.  
     {?Ku an-ey / \*Ku sok-ey / \*Ku an, / \*Ku sok,} musun yenlak-i isskeyssciyo.  
 c. {머지 않아 / 조만간} 무슨 연락이 있겠지요.  
     {Me-ci anha / comankan} musun yenlak-i isskeyssciyo.

8. 3. 「点／점<cem>」(日本語については森山 2000 も参照のこと)

- (57) 日本語で指示詞「その」が前置された「点」——二つの用法(森山 2000)  
 (A) 特性を焦点化して判断理由を提示する接続表現となった用法(例は(58))  
 (B) 特性が焦点化され、その特性について対照する用法(例は(59))
- (58) 同時に、化学兵器の素材や製造設備が第三世界に渡らぬ工夫がいる。その点(で),  
 むしろ問われているのは先進主要国である。(『朝日新聞』1989年1月10日)(森山 2000: 38 から)
- (59) 悟郎「(達也に)中馬君には惚れた女はいないんですか?」／達也「今は、特に」  
 ／悟郎「そりゃ寂しすぎる」／季美子「その点(\*で), 悟郎さんは寂しくありません。  
 惚れぬいた女がいるからです」(野沢尚『さらば愛しのやくざ』)(森山 2000: 39 から)
- (60) 朝鮮語における「점<cem>(点)」  
 (A) の用法の場合 — { 그 점에서 <ku cem-eyse> (その点で)  
                                   \*그 점 <\*ku cem> (その点)  
 (B) の用法の場合 — { \*그 점 <\*ku cem> (その点)  
                                   그 점은 <ku cem-un> (その点は)  
                                   그 점에는 <ku cem-ey-nun> (その点には)

9. 形式名詞「もの ; こと ; の / 것<kes>」, 形式名詞「ところ / 데<tey>」,  
 名詞化接尾辞「기<ki>」「로 / 음<m/um>」(堀江 1998a, 2001, Horie 1998b)

- (61) 堀江の主張  
 日本語 —— 単一の形式(構造)に複数の意味(機能)を対応させる傾向がより強い  
 韓国語 —— 単一の形式(構造)に単一の意味(機能)を対応させる傾向がより強い

- (62) a. 調べればすぐに分かるものを, 面倒くさがってやらない癖がある。  
 b. 彼は, 夕方まで居るはずだったのが, 急に早い電車で帰ることになった。  
 c. 文句を言ったところで, どうせ取り合ってもらえまい。  
 d. 人々が戦場をやっと逃れてきたところを, 新たな災厄が襲った。  
 e. 学校へ行った。ところが, 創立記念日で休みだった。
- (63) a. 그 사람이 말하기를 내년에 꼭 오겠답니다.  
 Ku salam-i malha-ki-lul naynyen-ey kkok okeysstapnita.  
 (彼が言うには来年必ず帰るとのことです。)  
 b. 저는 밤 늦게까지 원고를 쓰므로 아침에 늦게 일어납니다.  
 Ce-nun pam nuc-key-kkaci wenko-lul ssu-m-ulo achim-ey nuc-key ilenapnita.  
 (私は夜遅くまで原稿を書くので, 朝遅く起きます。)  
 c. 숙제를 하는데 두 시간 걸렸다.  
 Swukcey-lul ha-nun-tey twu sikan kellyessta.  
 (宿題をするのに2時間かかった。)

## 10. 文法化による記述・説明 — 主張(1)

- (64) 文法化の進度の違いという根本的な要因  
 日本語 — 文法化が生じている言語現象が比較的多い。  
 朝鮮語 — 文法化が生じている言語現象が比較的少ない。
- (65) 「文法化」(grammaticalization) — 実質的な意味を有する自立的な語彙項目がその実質的な意味と自立性を失い, 文法的な機能を担うように変化する過程  
 (Hopper and Traugott 2003, Heine, Claudi, and Hünemeyer 1991, 松本 1996, 大堀 2005  
 などを参照のこと)
- (66) この文法化の様態は, 次に挙げたすべての言語現象に共通している。  
 (A) 複合格助詞  
 (B) 複合動詞  
 (C) 「動詞連用形+テイク/動詞連用形+가다<kata> (行く)」構文と「動詞連用形+テクル/動詞連用形+오다<ota> (来る)」構文  
 (D) 「動詞連用形+テイル/動詞語幹+고 있다 <ko issta> (～ている); 動詞連用形+있다<issta> (～ている)」構文 (安 (アン) 2000)  
 (E) 「動詞連用形+テヤル; テクレル/動詞連用形+주다<cwuta> (～てやる; ～てくれる)」構文 (韓 (ハン) 2005)  
 (F) 位置を表す名詞「上/위<wi>」「内(うち)/안<an>; 속<sok>」「点/점<cem>」  
 (G) 形式名詞「もの; こと; の/것<kes>」, 形式名詞「ところ/데<tey>」, 名詞化接尾辞「기<ki>」「로/음<m/um>」(堀江 1998a, 2001, Horie 1998b)

(67) 結論

- (A) 日本語と朝鮮語の相違を引き起こしている根本的な要因として、日本語の方が朝鮮語よりも文法化が生じている、といった文法化の進度の違いを導き出すことができる。
- (B) こういったことが根本にあるため、種々の言語現象で両言語間の相違となって現れる。
- (C) 文法化に着目すれば、種々の言語現象における両言語間の相違を統一的に捉え、適切に説明することが可能となる。

1 1. (接辞を用いた) 使役構文 (Tsukamoto 1986, 塚本 1995)

1 1. 1. 形態的側面

(68) 日本語における使役表現

動詞語幹+接尾辞 (「せる」「させる」(正確には (s)ase))

(69) 朝鮮語における使役表現

(A) 動詞語幹+接尾辞 (이<i>, 기<ki>, 리<li>, 히<hi>, 우<wu>, 구<kwu>, 추<chwu>)

(B) 動詞語幹+게 하다 <key hata> (~ようにする) — 迂言的表現

(70) 両言語間の相違点

使役接尾辞の生産性

日本語 — 生産的

朝鮮語 — 非生産的

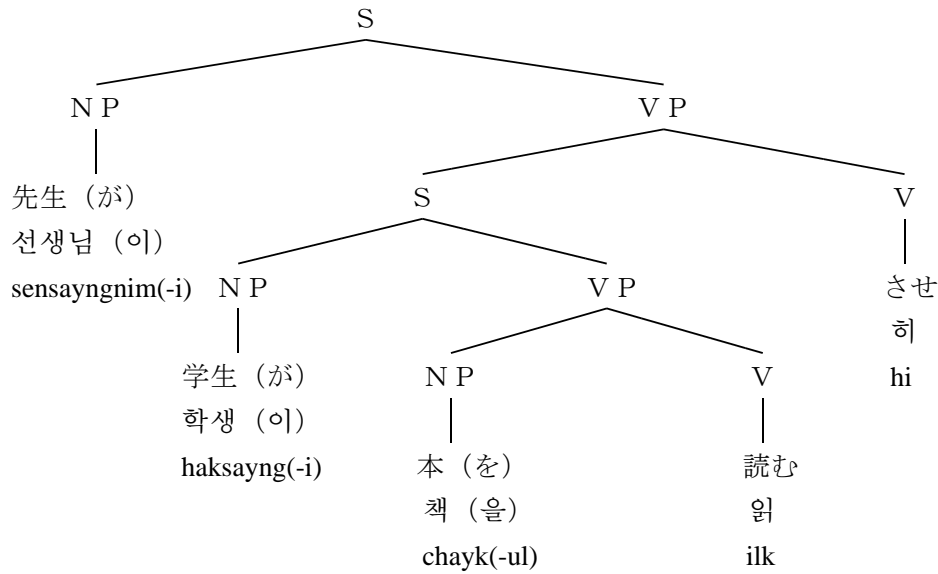
1 1. 2. 統語的側面

(71) 両言語における接辞を用いた使役構文に仮定される統語構造

(例) 先生が学生に本を読ませた。

선생님이 학생에게 책을 읽혔다.

Sensayngnim-i haksayng-eykey chayk-ul ilkyessta.



(72) 仮定された統語構造の埋め込み文内部における言語現象の生起の可能性

日本語 — 可能

朝鮮語 — 不可能

(73) 言語現象

(A) 受身化 (Aissen 1974)

(B) 再帰代名詞化 (Shibatani 1973a, 1973b, 1976)

(C) 副詞類の修飾 (Shibatani 1973a, 1973b, 1976)

(D) 「そうする／그렇게 하다 <kulehkey hata>」による置き換え

(Shibatani 1973a, 1973b, 1976)

(E) 数量詞の遊離

(74) ?僕はメアリーをばか扱いされさせてはおけない。(Aissen 1974: 355)

(75) ?僕はわざとメアリーを殴られさせておいた。(Aissen 1974: 355)

(76) a. 太郎は花子に自分の部屋で本を読ませた。

b. 다로오는 하나코에게 자기의 방에서 책을 읽혔다.

Taloo-nun Hanakho-eykey caki-uy pang-eyse chayk-ul ilkyessta.

(77) a. 先生が学生に一生懸命に本を読ませた。

b. 선생님이 학생에게 열심히 책을 읽혔다.

Sensayngnim-i haksayng-eykey yelqsimhi chayk-ul ilkyessta.

(78) a. 太郎が花子を座らせた。そして、次郎もそうした。

b. 다로오가 하나코를 앉혔다. 그리고 지로오도 그렇게 했다.

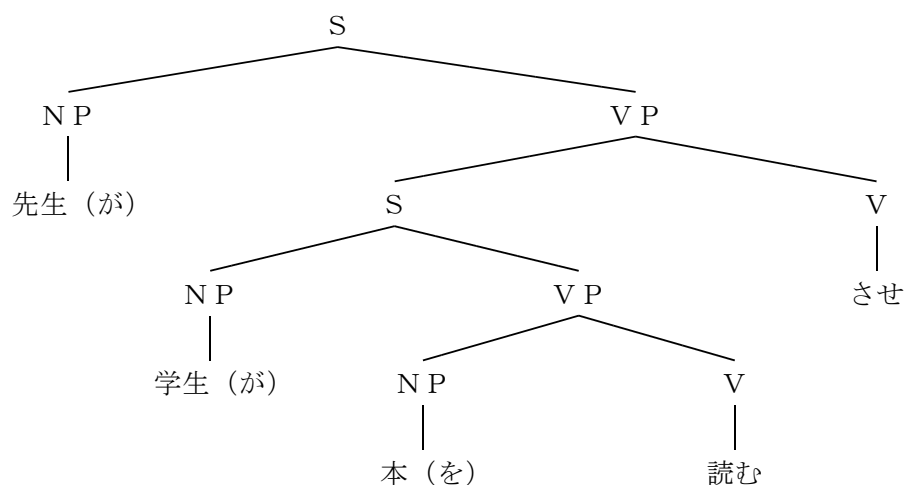
Taloo-ka Hanakho-lul anchyessta. Kuliko Ciloo-to kulehkey hayssta.

(79) a. ?先生が学生に4人本を読ませた。

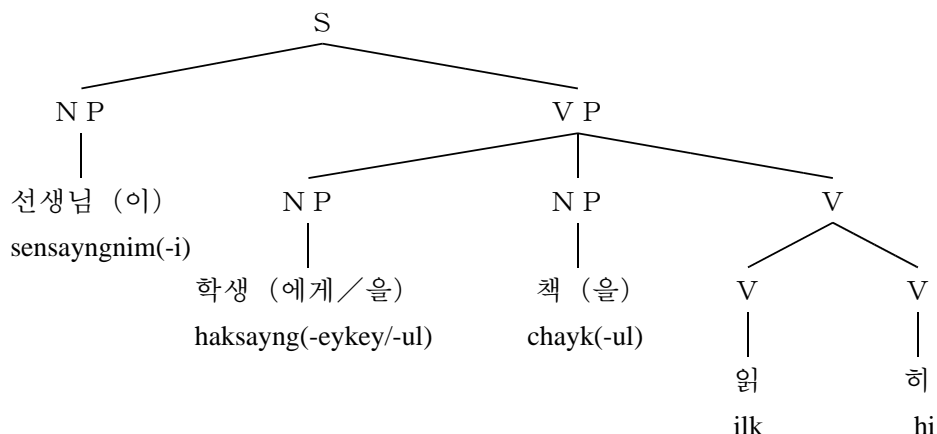
b. \*선생님이 학생에게 네 명 책을 읽혔다.

\* Sensayngnim-i haksayng-eykey ney myeng chayk-ul ilkhyessta.

(80) 日本語における使役構文の統語構造



(81) 朝鮮語における接尾辞を用いた使役構文の統語構造



1 2. 複合動詞構文 (塚本 1987, 1993, 2004)

(82) 日本語における複合動詞の形式

動詞連用形+動詞

(83) 日本語における複合動詞の例

歩き回る, 殴り殺す, 呼び入れる, 積み残す, 追い付く, 押し込む, 取り囲む, 振り向く, ……

(84) 振る舞いの違いから 2 種類に大別 (影山 1993 も参照のこと)

(A) \*歩かせ回る, \*投げられ入れる, ……

(B) 歩かせ始める, 投げられ続ける, ……

(85) 前項動詞を対象に言語現象が生起できる日本語の複合動詞 (姫野 2001: 11)

(A) 〈始動〉 ~かける, ~だす, ~始める, ~かかる

(B) 〈継続〉 ~まくる, ~続ける

(C) 〈完了〉 ~終わる, ~終わる, ~尽くす, ~きる, ~通す, ~抜く, ~果てる

(D) 〈未遂〉 ~そこなう, ~損じる, ~そびれる, ~かねる, ~遅れる, ~忘れる, ~残す, ~誤る, ~あぐねる, ~そこねる

(E) 〈過剰行為〉 ~過ぎる

(F) 〈再試行〉 ~直す

(G) 〈習慣〉 ~つける, ~慣れる, ~飽きる

(H) 〈相互行為〉 ~合う

(I) 〈可能〉 ~得る

(86) a. [s [s ベルが鳴る] 終わった]

b. [s 父が [s (父が) ビールを飲む] 続けた]

c. [s 桜の花が [s (桜の花が) 咲く] 始めた]

(87) 朝鮮語における複合動詞の形式

動詞連用形+動詞

(88) 朝鮮語における複合動詞の例

돌아다니다<tolatanita> (歩き回る), 일어서다<ileseta> (立ち上がる), 뛰어들다 <ttwietulta> (飛び込む; 駆け込む), 찔러죽이다<ccillecwukita> (刺し殺す), 받아들이다<patatulita> (受け入れる; 取り入れる), 갈아타다<kalathata> (乗り換える), 지켜보다<cikhyepota> (見守る; 見届ける), ……

(89) 日本語との相違点

- ・前項動詞を対象に言語現象が生起することができない複合動詞 ((84) (A) のようなもの) が圧倒的大多数
- ・そういったことが可能な複合動詞 ((84) (B) のようなもの) は非常に少ない

(90) a. 종 소리가 끝났다.

Cong soli-ka kkuthnassta.

(直訳: 鐘の音が終わった。)

b. 아버지가 맥주를 계속 먹었다.

Apeci-ka maykcwu-lul kyesok mekessta.

(直訳: 父がビールを続けて飲んだ。)

c. 벚꽃이 피기 시작하였다.

Peckkoch-i phi-ki sicakhayessta.

(直訳: 桜の花が咲くことを始めた。) (生越 1984 も参照のこと)

1 3. 「~中 (に) / ~ 중 (에) <cwung (-ey)>」 「~後 (に) / ~ 후 (에) <hwu (-ey)>」  
などを用いた構文 (塚本 1997 ; 日本語については影山 1993 も参照のこと)

(91) a. (?) 학생이 한국말을 공부 중에 ...

(?) Haksayng-i hankwukmal-ul kongpu-cwung-ey ...

(学生在韓国語を勉強中に…)

b. ? 일본에 가려면 학위를 취득후가 좋다.

? Ilpon-ey ka-lye-myen hakwi-lul chwituk-hwu-ka cohta.

(日本へ行くなら, 学位を取得後 (ご) がいい。)

(92) a. 학생이 한국말을 공부하는 중에 ...

Haksayng-i hankwukmal-ul kongpuhanun cwung-ey ...

(学生在韓国語を勉強している間に…)

b. 일본에 가려면 학위를 취득한 후가 좋다.

Ilpon-ey ka-lye-myen hakwi-lul chwitukhan hwu-ka cohta.

(日本へ行くなら, 学位を取得した後 (あと) がいい。)

(93) a. 학생이 한국말 공부중에 ...

Haksayng-i hankwukmal kongpu-cwung-ey ...

(学生在韓国語勉強中に…)

b. 일본에 가려면 학위 취득후가 좋다.

Ilpon-ey ka-lye-myen hakwi chwituk-hwu-ka cohta.

(日本へ行くなら, 学位取得後 (ご) がいい。)

1 4. 照応 (塚本 1997 ; 日本語については影山 1993 も参照のこと)

- (94) a. それ待ち  
b. (今夜は) そこ泊り  
c. そこ行き (の電車) (柴谷 1992: 221)
- (95) a. この電車はここ止まりです。  
b. あの人の好みのデザイン (影山 1993: 11)
- (96) a. 거기 가는 전차 (直訳:そこに行く電車)  
keki kanun cenchā  
b. 저 사람이 좋아하는 디자인 (直訳:あの人が好むデザイン)  
ce salam-i cohahanun ticain

1 5. 接頭辞「同~/동<tong>~」(塚本 1997 ; 日本語については影山 1995a, 1995b も参照のこと)

- (97) 英国で初の競馬学講座が, 同国南西部にあるブリストル大学に誕生した。  
(影山 1995a: 4, 1995b: 17)
- (98) 同氏, 同社, 同店, 同教授, 同研究所, 同センター, 同首相, 同大統領, 同容疑者,  
...
- (99) \*동씨<\*tong-ssi> (同氏), \*동사<\*tong-sa> (同社), \*동점<\*tong-cem> (同店),  
?동교수<?tong-kyoswu> (同教授), ?동연구소<?tong-yenkwaso> (同研究所),  
?동센터<?tong-seynthe> (同センター), \*동수상<\*tong-swusang> (同首相),  
\*동대통령<\*tong-taythonglyeng> (同大統領), \*동용의자<\*tong-yonguyca> (同容  
疑者)

1 6. 接尾辞「~的/~적 <cek>」(塚本 2001 ; 日本語については山下 1999, 2000 も参照のこと)

- (100) 美的, 法的, 理論的, 伝統的, 言語学的, 非合法的, 受け身的, 草分け的, アイドルの, ...
- (101) 「そこまでやるか」的趣味をもつ J リーガー人大集合  
(『朝日新聞』1994年11月22日) (山下 2000: 55 から)
- (102) 「疑わしきは罰する的な報道は控えよう」という判断からだ。  
(『朝日新聞』1998年7月6日) (山下 2000: 55 から)
- (103) 미적<mi-cek> (美的), 법적<pep-cek> (法的), 이론적<ilon-cek> (理論的), 전통적<centhong-cek> (伝統的), 언어학적<enehak-cek> (言語学的), 비합법적<pi-happep-cek> (非合法的), ...
- (104) a.\* 「거기까지 할까」적 취미를 가지고 있는 J 리그인 대집합  
\* "Keki-kkaci halkka"-cek chwimi-lul kaci-ko issnun ceyilikuin tacyiphap  
b. 「거기까지 할까」라고 하는 취미를 가지고 있는 J 리그인 대집합  
"Keki-kkaci halkka"-lako hanun chwimi-lul kaci-ko issnun ceyilikuin tacyiphap
- (105) a.\* 의심스러운 것은 별한다적인 보도는 삼가하자라고 하는 판단에서부터이다.  
\* Uysimsuleun kes-un pelhanta-cek-in poto-nun samkahaca-lako hanun



phantan-eyseputhe-ita.

- b. 「의심스러운 것은 별한다」와 같은 보도는 삼가하자라고 하는 판단에서부터이다.

"Uysimsuleun kes-un pelhanta"-wa kathun poto-nun samkahaca-lako hanun phantan-eyseputhe-ita.

## 17. 形態・統語的仕組みによる記述・説明 ― 主張(2)

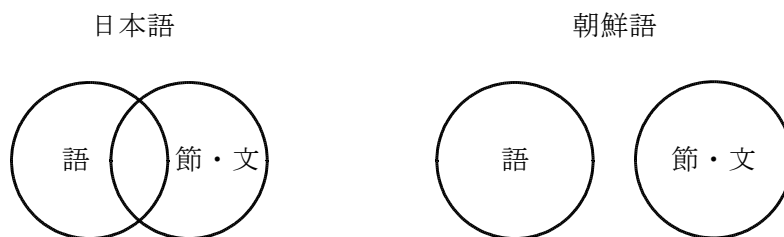
(106) 次の諸言語現象について日本語と朝鮮語の間で相違を見出すことができる。

- (A) (接辞を用いた) 使役構文
- (B) 複合動詞構文
- (C) 「～中(に) / ～ 중(에) <cwung(-ey)>」「～後(に) / ～ 후(에) <hwu(-ey)>」などを用いた構文
- (D) 照応
- (E) 接頭辞「同～ / 동<tong>～」
- (F) 接尾辞「～的 / ～적 <cek>」
- (G) 動詞連用形

(107) 日本語と朝鮮語の相違を引き起こしている根本的な要因として、次の(108)に示す形態・統語的仕組みの違いを導き出すことができる。

(108) 形態・統語的仕組みの違いという根本的な要因

- 日本語 ― 語と節・文が重なり合わさって融合している性質のものが存在する。  
朝鮮語 ― 語なら語, 節・文なら節・文といったように語と節・文の地位をはっきりと区別する仕組みになっている。



(109) 結論

- (A) 日本語と朝鮮語の相違を引き起こしている根本的な要因として、形態・統語的仕組みの違いを導き出すことができる。
- (B) こういったことが根本にあるため、種々の言語現象で両言語間の相違となって現れる。
- (C) 形態・統語的仕組みに着目すれば、諸言語現象における両言語間の相違を統一的に捉え、適切に説明することが可能となる。

## 18. 形態・統語的仕組みの文法化とのかかわり ― 主張 (3)

(110) 文法化の進度の違いという根本的な要因

日本語 ― 文法化が生じている言語現象が比較的多い。

朝鮮語 ― 文法化が生じている言語現象が比較的少ない。

(111) 両言語間におけるこういった文法化の進度の違いは、(108) に示した、形態・統語的仕組みの違いというさらに根本的な要因と強く結び付いており、これに由来したものである。

(112) 最終的な結論

(A) 日本語と朝鮮語の相違を引き起こしている根本的な要因として、文法化の進度の違いを導き出すことができる。

(B) 両言語間におけるこういった文法化の進度の違いは、形態・統語的仕組みの違いというさらに根本的な要因と強く結び付いており、これに由来したものである。

(C) こういったことが根本にあるため、諸言語現象で両言語間の相違となって現れる。

(D) 文法化、さらには形態・統語的仕組みに着目することによって、諸言語現象における両言語間の相違を統一的に捉え、適切に説明することが可能となる。

### 主要参考文献

Aissen, Judith (1974) Verb Raising. *Linguistic Inquiry*, Vol. 5, No. 3, pp. 325-366.

安平鎬 (アン・ピョンホ) (2000) 『(アル／) イル』と『テイル』をめぐって ― 韓国語との対照という観点から ― 『国語学会平成 12 年度春季大会要旨集』 pp. 174-181

グループ・ジャマシイ [砂川有里子・他] (編) (1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版

韓京娥 (ハン・キョンア) (2005) 「日本語の『～てあげる・くれる』と韓国語の『-e cwu- (～テアゲル・クレル)』の意味機能 ― 与格と共に起している文を中心に ― 」第 3 回日韓対照研究会 (東京大学 21 世紀 COE プログラム「心とことば ― 進化認知科学的展開」内) 口頭発表

Heine, Bernd, Ulrike Claudi, and Friederike Hünemeyer (1991) *Grammaticalization: A Conceptual Framework*. Chicago: The University of Chicago Press.

姫野昌子 (2001) 「複合動詞の性質」『日本語学』第 20 巻第 9 号, pp. 6-15

Hopper, Paul J. and Elizabeth Closs Traugott (2003) *Grammaticalization* <second edition>. Cambridge: Cambridge University Press.

堀江薫 (1998a) 「コミュニケーションにおける言語的・文化的要因 ― 日韓対照言語学の観点から ― 」『日本語学』第 17 巻第 11 号《複雑化社会のコミュニケーション》, pp. 118-127

Horie, Kaoru (1998b) Functional Duality of Case-marking Particles in Japanese and Its Implica-

- tions for Grammaticalization: A Contrastive Study with Korean. *Japanese/Korean Linguistics*, 8, pp. 147-159. Stanford: CSLI Publications.
- 堀江薫 (2001) 「膠着語における文法化の特徴に関する認知言語学的考察 — 日本語と韓国語を対照に —」山梨正明・他 (編) 『認知言語学論考 No. 1』 pp. 185-227, ひつじ書房
- 堀江薫 (2005) 「日本語と韓国語の文法化の対照 — 言語類型論の観点から —」『日本語の研究』第1巻3号, pp. 93-107
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』ひつじ書房
- 影山太郎 (1995a) 「形態論と統語論のはざま」『未発』第1号, pp. 1-5, ひつじ書房
- 影山太郎 (1995b) 「文と単語」『日本語学』第14巻第5号, pp. 12-20
- 松本曜 (1996) 「言語類型論 (II): 文法化」森岡ハインツ・加藤泰彦 (編) 『海外言語学情報』第8号, pp. 93-101, 大修館書店
- Matsumoto, Yo (1998) Semantic Change in the Grammaticalization of Verbs into Postpositions in Japanese. In Toshio Ohori (Ed.), *Studies in Japanese Grammaticalization: Cognitive and Discourse Perspectives*, pp. 25-60. Tokyo: Kurosio Publishers.
- 森山卓郎 (2000) 『「点」考』『国語学』第51巻1号, pp. 31-45
- 新美和昭・山浦洋一・宇津野登久子 (1987) 『外国人のための日本語例文・問題シリーズ4 複合動詞』荒竹出版
- 生越直樹 (1984) 「日本語複合動詞後項と朝鮮語副詞・副詞的な語句との関係 — 日本語副詞指導の問題点 —」『日本語教育』52号, pp. 55-64
- 大堀壽夫 (2005) 「日本語の文法化研究にあたって — 概観と理論的課題 —」『日本語の研究』第1巻3号, pp. 1-17
- 三枝壽勝 (1997) 「日本語表現一覧早見表」最新日韓辞典編集委員会 (編) 『最新日韓辞典 (日本版)』 pp. 1976-2005, 韓国서울<Seoul> (ソウル): 大同文化社
- Shibatani, Masayoshi (1973a) *A Linguistic Study of Causative Constructions*. Ph.D. Dissertation, University of California, Berkeley. [Reproduced by Indiana University Linguistics Club in 1975.]
- Shibatani, Masayoshi (1973b) Lexical versus Periphrastic Causatives in Korean. *Journal of Linguistics*, Vol. 9, pp. 281-297.
- Shibatani, Masayoshi (1976) Causativization. In Masayoshi Shibatani (Ed.), *Syntax and Semantics, Vol. 5: Japanese Generative Grammar*, pp. 239-294. New York: Academic Press.
- 柴谷方良 (1992) 「アイヌ語の抱合と語形成理論」宮岡伯人 (編) 『北の言語: 類型と歴史』 pp. 203-222, 三省堂
- 砂川有里子 (1987) 「複合助詞について」『日本語教育』62号, pp. 42-55
- 寺村秀夫 (1984) 『日本語のシンタクスと意味 第II巻』くろしお出版
- Tsukamoto, Hideki (1986) On the Interaction of Morphology and Syntax of Agglutinative Languages: A Contrastive Study of Japanese, Korean, and Turkish. *Linguistic Research*, 5, pp. 25-40. Kyoto: Kyoto University Linguistics Circle.
- 塚本秀樹 (1987) 「日本語における複合動詞と格支配」『言語学の視界 小泉保教授還暦記念論文集』 pp. 127-144, 大学書林

- 塚本秀樹 (1990a) 「日本語と朝鮮語における複合格助詞について」 崎山理・佐藤昭裕 (編) 『アジアの諸言語と一般言語学』 pp. 646-657, 三省堂
- 塚本秀樹 (1990b) 「日朝対照研究と日本語教育」 『日本語教育』 72 号, pp. 68-79
- 塚本秀樹 (1991) 「日本語における複合格助詞について」 『日本語学』 第 10 巻第 3 号, pp. 78-95
- 塚本秀樹 (1993) 「複合動詞と格支配 — 日本語と朝鮮語の対照研究 —」 仁田義雄 (編) 『日本語の格をめぐる』 pp. 225-246, くろしお出版
- 塚本秀樹 (1995) 「膠着言語と複合構造 — 特に日本語と朝鮮語の場合 —」 仁田義雄 (編) 『複文の研究 (上)』 pp. 63-85, くろしお出版
- 塚本秀樹 (1997) 「語彙的な語形成と統語的な語形成 — 日本語と朝鮮語の対照研究 —」 国立国語研究所 (編) 『日本語と外国語との対照研究IV 日本語と朝鮮語 (下巻) 研究論文編』 pp. 191-212, くろしお出版
- 塚本秀樹 (2001) 「語形成と文法化 — 日本語と韓国語の対照研究 —」 南豊鉉・他 (編) 『梅田博之教授古稀記念 韓日語文學論叢』 pp. 605-627, 韓国서울<Seul> (ソウル) : 太學社
- 塚本秀樹 (2004) 「文法体系における動詞連用形の位置づけ : 日本語と韓国語の対照研究」 佐藤滋・堀江薫・中村渉 (編) 『対照言語学の新展開』 pp. 297-317, ひつじ書房
- 塚本秀樹 (2006a) 「日本語から見た韓国語 — 対照言語学からのアプローチと文法化 —」 『日本語学』 第 25 巻第 3 号, pp. 16-25
- 塚本秀樹 (2006b) 「言語現象と文法化 — 日本語と朝鮮語の対照研究 —」 『日本語と朝鮮語の対照研究 東京大学 21 世紀 COE プログラム「心とことば — 進化認知科学的展開」 研究報告書』 pp. 27-61, 東京大学
- 塚本秀樹 (2006c) 「日本語と朝鮮語における複合格助詞再考 — 対照言語学からのアプローチ —」 藤田保幸・山崎誠 (編) 『複合辞研究の現在』 pp. 285-310, 和泉書院
- 塚本秀樹 (2009) 「日本語と朝鮮語における品詞と言語現象のかかわり — 対照言語学からのアプローチ —」 由本陽子・岸本秀樹 (編) 『語彙の意味と文法』 pp. 395-414, くろしお出版
- 塚本秀樹 (近刊) 「日本語と朝鮮語における複合動詞再考 — 対照言語学からのアプローチ —」 油谷幸利教授還暦記念論文集刊行委員会 (編) 『朝鮮半島のことばと社会 — 油谷幸利教授還暦記念論文集 —』 明石書店
- 山下喜代 (1999) 「字音接尾辞『的』について」 森田良行教授古稀記念論文集刊行会 (編) 『日本語研究と日本語教育』 pp. 24-38, 明治書院
- 山下喜代 (2000) 「漢語系接尾辞の語形成と助辞化 — 『的』を中心にして —」 『日本語学』 第 19 巻第 13 号, pp. 52-64
- 山崎誠・藤田保幸 (2001) 『現代語複合辞用例集』 国立国語研究所

## 付記

本発表は、2007 ～ 2009 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) (研究代表者: 塚本秀樹, 研究課題名: 日本語と朝鮮語における文法化現象の総合的研究 — 対照言語学からのアプローチ —, 課題番号: 19520349) による研究成果の一部である。